

新入学生・ご家族の
みなさまへ

公共交通を **作り** **守り** **育てる** こと

考えてみませんか?



静岡県バス活性化委員会
静岡県
一般社団法人静岡県バス協会

国土交通省静岡運輸支局
一般社団法人静岡県自動車会議所
中部鉄道協会静岡県協議会



新入学生・保護者のみなさま



ご入学おめでとうございます。
新生活が始まるみなさんに欠かせない
公共交通について一緒に考えてみませんか？

1 電車・バス(公共交通)の役割

電車・バスは小さな子どもから高齢者まで、誰もが利用することができます。
通勤・通学・通院・買い物などに利用され、社会生活を営む上で必要不可欠な存在となっています。



子どもから大人、高齢者まで無くてはならないものなんだよ。

確かに、電車やバスが無い生活なんか考えられないね。
でも僕たちが利用する必要があるのかな？



みんなで電車・バスを利用することで、こんな効果が期待できます。

高齢者や体が不自由な人の移動手段を守る

車の運転ができない高齢者や体が不自由な人が通院や買い物を
するためには、電車・バスが不可欠です。
特に近年は少子高齢化が急速に進み、高齢者が増加します。
今後はもっと必要になってくるでしょう。

山間部や遠方に住む人々の移動手段を守る

徒歩や自転車では通えない地域に住む人にとって、
電車・バスは欠かせない存在です。



地域の安心・安全を支える 電車・バスは雨天時の渋滞を緩和したり、交通事故を減らす効果もあります。

電車・バスの利用 ▶ **地域を支えるということ**

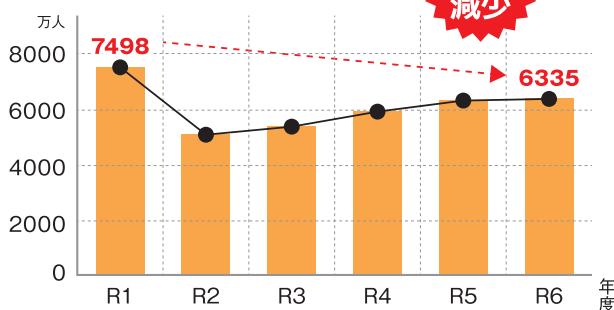
公共交通を利用することで
街が元氣になっていくんだよ!



2 将来は電車やバスが無くなる!?

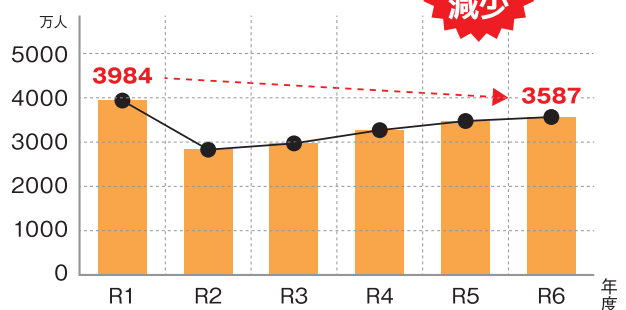
県内のバス利用者はコロナ禍で大きく減少しました。利用者数は徐々に回復しているものの、
コロナ禍前の水準には未だ戻っていません。

〔図A〕 静岡県内の乗合バス
輸送人員の推移

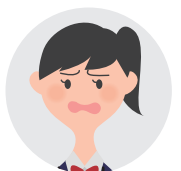


約**1100万人**
減少

〔図B〕 静岡県内の鉄道輸送
人員の推移 (JR東海除く)



約**400万人**
減少



それは困る!! 利用してる人は
移動手段が無くなっちゃう...

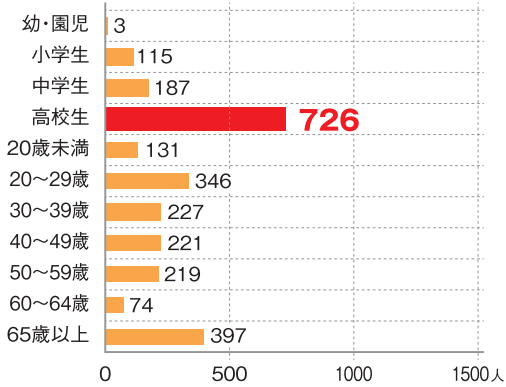
物価高騰や運転士不足の問題も発生して
いるから、利用者の少ない路線から
どんどん無くなっていくかもしれない...



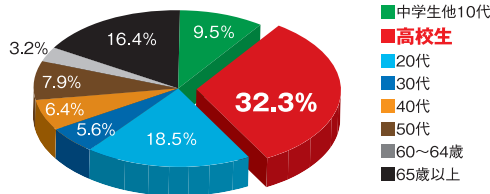
3 自転車利用の危険性

自転車はとても便利な乗り物ですが、毎年多くの高校生が交通事故にあっています。改正道路交通法の施行により令和8年4月1日から、16歳以上の自転車利用者に対する交通反則通告制度が導入されます。

[図C] 自転車事故年齢層別負傷者数(静岡県内)
(令和7年)



[図D] 年齢別危険行為登録状況(静岡県内)
(令和7年)



静岡県内の自転車事故の負傷者のうち、27.4%、約4人に1人が高校生なんだ



※危険行為とは…信号無視・遮断踏切立入、指定場所一時不停止、歩道通行時の通行方法違反、制動装置(ブレーキ)不良自転車運転、安全運転義務違反など16類型

令和元年10月1日から静岡県の条例により自転車保険加入と児童・中学生の自転車通学時の乗車用ヘルメット着用が義務づけられました。
令和5年4月1日から道路交通法改正により全ての年齢で乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。
令和6年11月1日から道路交通法改正により、自転車の危険な運転(「ながらスマホ」と「酒気帯び運転」)に新しく罰則が整備されました。



4 電車・バスを利用する事で生まれるメリット

本を読んだり、少し仮眠をとったり…スマホも見たい放題!
電車やバスに乗っている時間は、いろんなことに活かせます。さらに、決まった時間の電車やバスを利用することで、自然と規則正しい生活習慣が身につきます。

時間を有効活用できて、生活習慣も身につくなら公共交通を利用する方がいいかも



自転車に乗りながらのスマホ操作は禁止!公共交通ならOK!

5 自家用車による送迎のデメリット

気を遣わない家族の自家用車で送迎してもらうのは安心で快適です。しかし一方で様々な問題も発生しています。



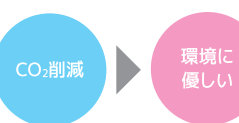
公共交通を利用することで様々な問題も解消されるんだ



6 環境への配慮

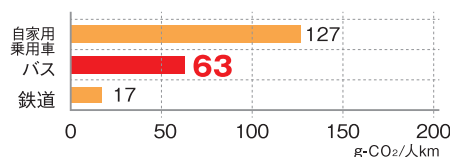
公共交通は環境にも優しいんです。

電車・バス利用
渋滞の緩和
自家用車の減少



公共交通は人だけでなく、地球にも優しいんだね。

[図E] 輸送量当たりの二酸化炭素排出量(旅客)
(令和5年度)



この図を見ると、自家用車利用の負荷がかなり高いね

7

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて

SDGsは「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発目標のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



公共交通は「住み続けられるまちづくり」を実現するために欠かせない存在であり、また、地域の人々の「健康と福祉」の増進に貢献し、環境にも配慮した「クリーン」な移動手段です。公共交通を利用することはSDGsの達成に必要なことと言えます。



通学には公共交通をご利用ください!

ご入学おめでとうございます。

お子様の入学という新たなステージに臨むこの時に、お子様と保護者の方々に公共交通の役割と維持していくことの重要性を知っていただくためにこのリーフレットを作成しました。

公共交通は、なぜ必要なのでしょう?

多くは通勤、通学、通院、買物といった生活に密着した目的のために利用されています。人が生活していくうえで、「移動できること」は非常に重要なことです。誰でも利用できる公共交通は、欠かすことのできない社会基盤としての役割を担っています。

一方、自家用車の普及により公共交通の利用者が減少の一途をたどっています。交通事業者も、採算が合わない路線を単独で維持していくことは困難であるため、廃止せざるを得ない状況です。そこで特に生活に不可欠な公共交通については、行政が一体となって支援し、交通事業者も利用者を増やす取り組みを展開しています。

しかし、公共交通を維持していく上で何よりも重要なのは、多くの人に利用していただくことなのです。

是非、この機会に公共交通の利用についてお子様とともに考えてみていただければと思います。

